

# Pleasure News

NO.119 2015/12/31 発行

いつもP-web・PBCSをご利用頂き、誠にありがとうございます。

今月も「PleasureNews」をお届けします。少しでも皆様のお役に立てれば幸いです。

プレジャー株式会社

担当：川内 洋子

T E L : 03-3823-0304

e-mail : y-kawauchi@pleasure-inc.co.jp



## Googleマップ タイムライン機能

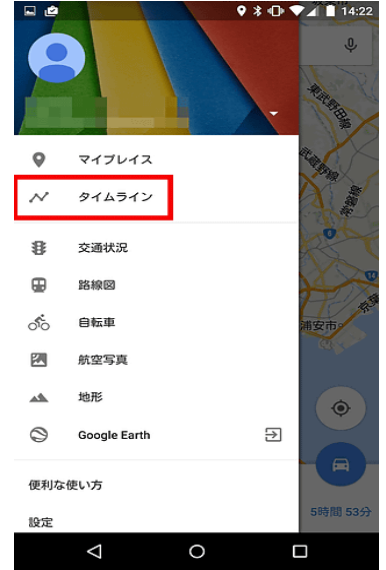
### タイムラインの表示と管理

Google マップに「タイムライン」という機能が追加されたのはご存じでしょうか。タイムラインでは、訪れたことのある場所や移動した経路をもう一度見ることができます。

注：タイムラインは、Android 向け Google マップの最新バージョンと、パソコンから [www.google.com/maps/timeline](http://www.google.com/maps/timeline) で利用できます。

- ①Android 端末から「タイムライン」機能を利用するには、Google マップのアプリを開いて左上のメニューアイコンをタップ。
- ②表示」をタップ。なお、タイムラインの情報を表示できるのは自分のアカウントだけの完全プライベート機能なので、うっかり誰かに自分の移動ルートが表示されてしまうことはありません。
- ③日付のタブを引っ張り上げると、移動ルート内に含まれる場所情報の一覧をタイムライン形式で表示できます。
- ④タイムラインではルート上にある場所を「訪れた場所ですか？」と尋ねられるので、行った場所があれば「はい」をタップしていくと、より正確なタイムラインを作っていくことができます。

Android のスマートフォンをお使いの方、一度試されてはいかがでしょうか。



## PLEASURE NEWS 編集

## 今月の一冊

先日、「フェードル」という舞台を観てきました。フランスの劇作家ジャン・ラシーヌの悲劇。ギリシャ・ペロポネソス半島の都市トロイゼーンにあるアテナイ王・テゼーの宮廷を舞台に、テゼーの妻・フェードルの禁断の恋を描いた作品です。演出・青山真治さん。主演・とよた真帆さん。他、高橋洋さん、堀部圭亮さん、馬淵英俤可さんらが出演されていました。このお話は悲劇です。原作を読んでいないのでわからないのですが、演出上なのか、悲劇なのに笑えるところもあって面白かったです。古典の長い台詞が続いても退屈さはなく、最後は、ええっ？っていう結末で驚かされました。舞台の幕が上がってすぐは、大きな動作や台詞についていけないこともあります。それがいつの間にか入り込んでくるといいますよね。舞台の空気が拡大されて迫ってくる感じというか、晒されて剥き出しになる感じというか……。うーん、ちょっとわかりにくいですね。



### 「その女アレックス」 著：ピエール・ルメートル

本屋大賞翻訳小説部門第一位受賞

2014年ミステリーランキング、4冠達成!

貴方の予想はすべて裏切られる――。

表紙が暗いですよね。好みではないものの帯にそそられて買いました。気の毒な被害者に見えたアレックスの秘密が壮絶で……。感想を書くとなタバレになるので控えますね。グロい描写もあるし、血なまぐさいのが苦手な人はおすすめできませんが、覚悟があれば面白い。事件を追うパリ警察のカミーユと部下たちがいいです。真冬の暖かい部屋で、ぞわっと来る海外ミステリーはいかがですか？

【内容】(「BOOK」データベースより)

おまえが死ぬのを見たい―男はそう言ってアレックスを監禁した。檻に幽閉され、衰弱した彼女は、死を目前に脱出を図るが…しかし、ここまでは序章にすぎない。孤独な女アレックスの壮絶なる秘密が明かされるや、物語は大逆転を繰り返す、最後に待ち受ける慟哭と驚愕へと突進するのだ。イギリス推理作家協会賞受賞作。

